



Chat GPTについて

先日関西で地方議員をする友人が企画するChat GPTのミニセミナーに参加した。今は多くの人が利用しているツールだが、その実力は想像をはるかに超えていた。簡単に言えば「会話ができるAI」であり、まるで優秀なアシスタントと話しているような感覚なのだ。たとえば、メール文の作成や、ちょっとしたお知らせ文、企画書のアイデア出しなど、普段の事務作業の中で「少し助けがほしいな」と思う場面で、驚くほど役に立つ。キーワードを入れてお願いすると、数秒で整った文章を提案してくれるので、時間の節約にもなる。また、言葉にしづらいアイデアと一緒にまとめて、調べ物の入り口に使ったりもできる。判断に迷った時も「こういう時どうしたらいい？」と聞けば、それなりの答えが返ってくるので、一人で悩まずにすむのもありがたい。

もちろん、最終判断や内容の確認は人間の仕事だが、うまく使えば仕事の効率が格段に上がる。特に事務系の仕事では、「考える」「まとめる」「伝える」といった場面で大きな力になる。未来の働き方は、こうしたツールとの上手な付き合い方にかかっていると言っても過言ではない。それでは、Chat GPTは人間の仕事を奪ってしまうのか？そこでChat GPTに次の質問を試してみた。

「Chat GPTが進化しても困らない人になる為にはどうしたらいい？」その答えは

1. 「AIを“使う側”に回る」：AIは「敵」じゃなくて「ツール」なんです。だから、ChatGPTみたいなAIをうまく使いこなせる人は、むしろ生産性が爆上がりして、価値が上がります。
2. “人間らしさ”に価値が出るスキルを伸ばす：AIは論理やデータに強いけど、共感・感性・創造性はまだ人間の強み。
3. 学び続ける習慣を持つ AIや技術は日進月歩なので、「ずっと同じことをしていればOK」な時代は終わり。けど逆に言えば、学びを楽しめる人はめちゃくちゃ強い。
4. 変化を怖がらず、“乗りこなす”マインドを持つ：「変化＝ピンチ」じゃなくて、「変化＝チャンス」に変換する思考法が超大事。

Chat GPT等の生成AIが急速な進歩をする今において「AIをツールとして活用しつつ、人間にしかできない部分を磨き、変化を楽しむ人」になることが大事であると、AIが我々にメッセージを送っている。すごい時代になったものだ。

吉澤比佐志

2025年度 全社会議を開催しました

2025年4月12日(土)に富山電気ビルディングで全社会議を開催しました。吉澤社長より2025年度の方針について発表がありました。今年度のスローガンは引き続き「**全員経営**」です。運輸業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、お客様に必要とされる企業となるために、社員一丸となり「**お客様に信頼と満足**」を感じていただけるよう高品質な物流サービスの提供を続けてまいります。



全社会議は年に1回の全社員が集まり方針を共有する重要な会議です



懇親会にはOB2名にも参加していただき、大いに盛り上がりました

改正物流関連二法が施行されました（2025年4月）

2024年問題などのトラックの輸送力不足対策として物流効率化法が改正され、すべての発・着荷主・物流事業者に物流効率化のために取り組むべき措置について努力義務が課されました。主な取り組むべきとされる事項は下記の通りです。

努力義務事項	取り組み具体例
積載効率の向上	納期の調整、繁閑の平準化
荷待時間の短縮	正確な積・着時間指定、バース予約システムの導入
荷役時間等の短縮	荷姿のパレット化、検品の効率化
実効性確保のための事項	責任者の選任、積載効率・荷待・荷役時間の把握

2026年4月からは一定規模以上の荷主企業・物流事業者を**特定事業者**として指定し、**物流統括責任者（CLO）**の選任や**中長期計画**の策定が義務付けられ、**努力義務項目の定期報告**が求められるようになります。

また貨物自動車運送事業法も改正され、**実運送体制管理簿**の作成が義務づけられました。改正物流関連二法についてやお客様の物流効率化や見直しについては、県トラまでお気軽にご相談ください。

お客様の物流効率化に当社物流センターをご活用ください！

富山東物流センター（[富山市水橋沖](#) 国道8号沿い）



◁一般倉庫
保管面積約1,400坪
2フロア
建材やプラスチック製品、
原材料など、温度管理の
不要な商品の保管が可能
です。

例えば・・・

- 原材料や製品の輸送を大型車で行い、倉庫で一時保管。お客様の要望に応じて多頻度・少量納品
- 出荷場所を分散することで荷待、荷役時間を短縮
- 荷受、保管、出荷までの物流業務をアウトソーシング課題に合わせた活用方法をご提案いたします。

保管・倉庫サービスについて詳しくはコチラ

<https://kentora.co.jp/service/warehouse/>



お気軽にご相談ください（富山県トラック株式会社）

TEL 076-479-6311

info@kentora.co.jp